

# NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

## 先端電子立国の形成へ向けて 小渕首相ペタネットの必要性に言及

98年11月16日に緊急経済対策が決定されたのを受けて開かれた記者会見の席で、ついに日本の内閣総理大臣の口から「ペタネット」という言葉が出された。緊急経済対策の文書にも、先端電子立国を形成するためのプロジェクトとして「次世代インターネット構想」を推進するとの文言が盛り込まれるなど、行政による通信環境の整備が本格的に始まりそうだ。

編集部

### 次世代インターネット構想を推進

緊急経済対策の中でインターネットに関連する部分は、「21世紀先導プロジェクトの実施」という章で「先端電子立国を形成するための2つのプロジェクト」としてまとめられている。

次世代インターネット構想を推進するとともに、国、地方公共団体等の情報化を進め、強力な電子政府、ワンストップ行政サービス等情報化を図る。また、全国的に地域や産業の情報化の取り組みを一層加速させる。2000年問題への対応を進める。

通信コストの引下げと情報ハイウェイ、光ファイバ網・CATV網等の整備・高度利用を引き続き推進し、通信容量の大幅な拡大、情報内容の充実を図り、我

が国のネットワーク環境を一変させる。

この中でぜひとも実現してほしいものは、おもに「次世代インターネット構想を推進」、「通信コストの引き下げ」、「光ファイバ網・CATV網等の整備」、「通信容量の大幅な拡大」の4つだろう。通信コストの引き下げに関しては、第一種電気通信事業者の料金が許認可制から届け出制になっているなど、実現に向けてすでに動き出している。

### メガの10億倍「ペタネット」

今回の緊急経済対策にはもう1つ大きな意味がある。小渕首相の「ペタネット」発言である。ペタはメガの10億倍だが、いまだから国のプロジェクトとしてネットワークを構築するならば、この規模を想定することは不思議ではない。つまり、話題のギガピッ

トイサが登場したら、必然的にそれを束ねるルーターはテラビットルーターとなり、そのバックボーンには当然ペタの規模が要求されることになるからだ。

なお、同じく小渕首相の「光ファイバ網の整備を政府全体としてやっていく」という発言に関連してか、建設省のウェブサイトに光ファイバーを敷設するための「情報BOX」の整備状況が公開された。近い将来、このページから民間事業者の情報BOX利用計画の受け付けを開始し、光ファイバーの同時施工を行う予定となっている。

これら一連の動きによって、通信環境や通信コストの日米格差が一日も早くなくなるよう期待したい。

情報BOX整備概要図

URL <http://www.moc.go.jp/road/>



首相官邸のウェブサイトにも小渕首相の記者会見が公開されている

URL <http://www.kantei.go.jp/>

## インターネットでの音楽配信に平穏が訪れる！ JASRACとNMRCが 著作権問題で暫定合意

日本音楽著作権協会（JASRAC）とネットワーク音楽著作権連絡協議会（NMRC）は98年11月26日、インターネットを使って音楽をインタラクティブ配信する際の使用料に関し、99年3月31日までの期間限定で暫定的な合意に達したことを発表した。双方が少なからず歩み寄った形となった今回の暫定案を検証する。 編集部

### JASRACとNMRCの食い違い

インターネットの発展にともない、「音楽」がネット上にあふれている昨今、著作権問題が早々に浮上してきた。著作権は作った人の権利であり、著作権法によって保護されている。著作物の使用は著作者の許諾が必要になるが、JASRACでは著作者に代わって著作権を管理し、使用料を徴収している。

インターネットでの音楽配信において、ホームページを見る側からのリクエスト（私的利用）に応じ、無線や有線を通じて音楽を配信する「インタラクティブ配信」のうちの有料利用に関する部分が、著作権法の盲点になっていた。このため、インタラクティブ配信に対する著作権使用料をどのような扱いにするかで、JASRACとNMRCの意見が食い違っていた。

まず、JASRACは業務用の通信カラオケサービスにおける使用料規定をインタラクティブ配信に適用しようとした。この場合、サーバー側に蓄積した曲（著作物）に対しても基本使用料がかかる。このため、



ネットワーク音楽著作権連絡協議会（NMRC）  
URL <http://www.impress.co.jp/nmrc/>

あらゆるニーズに対応すべく品揃えを多くすると、少なからずリクエストがあまり来ない曲が出てくる。リクエストの少ない曲を多くサーバーに蓄積しておくで採算が合わず、品揃え＝リスクが生じてくる。一方、蓄積する著作物を絞ると、それだけ権利者のビジネスチャンスを狭めることになり、これは権利者にとっても意味をなさないものだという見解をNMRCは提示した。

また、インタラクティブ配信には、リクエストをした受信者が提供者から曲の配信を受けて、それを受信者側の端末で複製する「ダウンロード配信」と、提供者が受信者側の端末の画面に「Real Player」や「VDOLive」などのアプリケーションを表示させ、受信者側で複製できない「ストリーム配信」がある。JASRACでは、この2通りの配信形式を同じカテゴリーとしていた。しかし、この2形式は送信するデータ形式やアプリケーション、ユーザー端末での複製の可否といった点で異なり、同じ利用料を支払うのはおかしいとNMRCは主張した。

以上の点からも、従来の著作権法にあてはめようとするJASRACと新たな提示をしたNMRCは平行線をたどっていた。

### 双方が合意した暫定使用料

11月26日に合意にいたった99年3月31日までの暫定使用料は、以下のとおり（例外あり）JASRACがいう、著作物の数量を基準にする「基本使用料」が結果として取り扱われた恰好となり（相当額は加算さ



日本音楽著作権協会（JASRAC）  
URL <http://www.jasrac.or.jp/>

れている）利用単位計算で金額が提示された。ダウンロード形式とストリーム形式の2形式で月額単位使用料が異なるほか、広告収入の有無でも料金が変わる。

### ダウンロード形式

月額利用単位使用料は、1曲をリクエストした1回当たりの情報料の7%に月間の総リクエスト回数乗じた額、または1曲7円に月間の総リクエスト数を乗じた額のいずれが多い額に消費税相当額を加算した額（広告料収入がある場合は異なる）

### ストリーム形式

月額利用単位使用料は、1回のリクエストに応じて公衆送信されるデータが主として音楽著作物のときは、月間の総情報料収入と正味広告料収入を合算したものに3.5%を乗じた額に消費税相当額を加算した額（送信データが一般娯楽およびスポーツ、ニュースなどの場合のときは異なる）。

### 暫定合意とその後

協議の結果、双方がぎりぎりの線で合意に達した背景が、「月額基本料相当額」を月額利用料から徴収する点からも垣間見られる。インターネットにおける音楽利用の位置付けを一度整備する意味でも、期間を限定した暫定案で双方が動いた。JASRACが譲歩したと思われる今回の合意。しかし、あくまでも暫定であり、3月31日以降は一度白紙に戻って再度協議が行われる。そこが、またインターネット上の音楽利用に関する著作権問題のスタート地点だともいえる。

## ネットグラビティCEOジョン・ダナー氏に聞く ネットグラビティが支える インターネット広告の新手法

95年設立のネットグラビティは、適切なターゲットへの広告露出とマーケティング資料の獲得というオンライン広告の根幹をなすシステムの開発を行っている企業だ。98年11月に来日したジョン・ダナーCEOに、日米のネットワーク広告ビジネスの現状と展望について聞いた。

聞き手：今泉 洋



米ネットグラビティCEOジョン・ダナー氏

### 新しい広告手法

Q：最近では単なるバナーではなく、広告主の目的に合わせて表示位置や形式を細かくカスタマイズする「スポンサーシップ広告」という手法が特に注目されていたりするようですが、今後どのように発展するのでしょうか。

ダナー：今後コマース関連のサービスがインターネット上で伸びてくれば、それに合わせたネットワーク広告が必要になります。「Yahoo!」を例に挙げると、ある語句を検索すると関連する書籍やCDの販売サイトのバナーが表示されます。これは広告であると同時に、コマースサービスへの入り口になっています。このように、単純にバナー広告の表示回数が増えるというだけではなく、広告主のニーズに密着したスポンサーシップ広告はもっと伸びるでしょう。そして現状のインターネット広告はインプレッション（ヒット数）ベースで動いていますが、今後は提供するサービスの売り上げに応じて広告の価格が決まるようになると思います。

Q：日本も米国とほぼ同じ方向に向かっていくと思うのですが、今回来日されて日本のネットワーク広告状況にどのような感想を持ちましたか。

ダナー：米国はすでに「とにかくヒット数を上げて広告を載せる」という第1段階を過ぎて、「充実期」ともいえる第2段階に入っています。ネット広告は利益が上がるということがわかったので、次は「いかに収益を増やすか」を真剣に考える必要があるのです。

米国の企業の95%はまだこの第2段階から脱していませんが、日本も米国と同じ段階に入りつつあると思います。統計によると日本のインターネットユーザーの数は1200万人を超え、広告収入も100億円に達しています。ですから日本も第1段階を過ぎて、いかに収益を上げるかがポイントになってくるでしょう。



### 日本独特の広告システム

Q：日本のネットワーク広告を考える場合、非常に大きいのが博報堂や電通といった大手の広告代理店の存在です。こうした状況は米国とはかなり違うと思いますが、どのようにお考えですか。

ダナー：98年4月に日本法人を設立して、すでに日本経済新聞や朝日新聞などのクライアントも多数ありますが、営業面では電通と、システムインテグレーションの面では新日鉄とパートナー関係にあります。我々の事業はネットワーク広告の管理ソフトウェアの販売ですが、これを使って各媒体に収益を上げてもらうのが第一の目的です。日本で媒体とのコンサルティングを考える場合に広告代理店の存在は不可欠です。ですから各国のニーズに合わせたサービスを提供するために日本で電通とパートナーを組むというのは、理にかなっていると思います。



### 信頼性のあるデータ

Q：最近マイクロソフトが個人ページにリ

ンクバナーを供給する形の広告サービス「リンクエクステンジ」を買収しました。こういう動きをどのように見えていますか。

ダナー：リンクエクステンジは、大手ニュースサイトやポータルサイトを顧客に持つネットグラビティやダブルクリックに比べて小さなサイトを中心にビジネスを展開しているので、マイクロソフトの主力商品である個人用ソフトウェアの顧客の層と合致します。ですからその層に確実に広告を到達させるという目的においては、マイクロソフトにとって非常に意味のある買収だったと思います。しかしマイクロソフトやそのほかの企業が我々と競合する大規模サイト向けの広告ソリューションを提供しようとするのであれば、それは我々にとって脅威になるでしょう。

Q：それではネットグラビティ社は広告主に対して何を最大の訴求ポイントとしてアピールしていくのでしょうか。

ダナー：我々の最大のセールスポイントは「信頼性」、つまりレポートの確かさとシステムの堅牢さです。広告主にとって一番重要なのは「広告がどれだけどのように露出したか」というデータの収集とその分析です。現在多数のインターネット広告システムがありますが、アナリストや広告代理店がネットグラビティのデータを指標として使い始め、標準化し始めています。「Powered by NetGravity」というクレジットを見れば「これは信頼できるデータだ」と思うわけです。またこうしたデータを収集するためには絶対に落ちないシステムが必要で、この2点においてネットグラビティは多くのクライアントの支持を得ているのです。

## WWWとの統合が進む次世代オフィススイート マイクロソフトオフィス2000で 何が変わるのか

マイクロソフトは、ワード95やエクセル95用の「インターネットアシスタント」の公開以来、オフィス製品のWWW対応を進めてきたが、オフィス97以来のバージョンアップとなるオフィス2000について、98年12月10日、「Microsoft Office 2000 Reviewer's Workshop Stage 1」を開催し、その概要を明らかにした。編集部

### イントラネットの中心となる オフィス2000

この説明会では、マイクロソフトオフィスが企業の情報システムの中心となるアプリケーションであり、サーバー製品群であるバックオフィスと連携して機能するクライアントであることが、今まで以上に強調された。

オフィス2000では、以下の開発目標が掲げられている。

1. よりシンプルな操作性と作業効率の向上
2. 効果的な情報利用・共有の支援
3. TCOの大幅な削減

1はメニュー表示やオフィスアシスタントの改良などからなり、2はワードやエクセル、パワーポイントのファイルを簡単にWWWサーバー上にHTMLファイルとして保存できる機能が中心となる。3は管理者がインストーラーをカスタマイズし、ネットワーク上に共通するモジュールを配置できる機能などからなるが、1と2の目標も結局3の目標に集約されるものと思われる。つまり、



「Web フォルダ」への文書の保存

社内教育やウェブの管理などにかかるコストを下げ、イントラネットを安価に容易に活用する手段を提供することがオフィス2000の狙いだ。

### WWWを使った文書の管理

オフィス2000の各アプリケーションでは、文書の保存先に「Web フォルダ」、つまりWWWサーバー上のディレクトリーを直接指定できる。保存された文書をインターネットエクスプローラ(IE)5.0で見ると、ツールバーの「編集」アイコンが変化し、HTMLファイルであってもワードで作成した文書はワードで、エクセルで作成した文書はエクセルで編集できるようになる。IE5.0から呼び出した各アプリケーションで上書き保存を選べば、再びWWWサーバー上に直接保存される。

このほかに「Office Server Extensions」をIIS 4.0にインストールすれば、ウェブページにブラウザ上で次々とコメントを書き足していく機能や、ウェブが更新されたときにメールで通知する機能が利用できる。また、「Web コンポーネント」を使えばブラウザ上で数値を入力して表計算を再実行することも可能だ。

文書がローカルにあるかサーバー上にあるかを意識しない使い方というよりも、むしろ積極的にサーバー上で文書を共有する使い方が想定されているようだ。

### WWWブラウザは IE 5.0が前提に

オフィス2000の各アプリケーションで作成されたHTMLファイルは、書式が抜け落ちることが多かったオフィス97までと違い、ほぼ完全にIE 5.0上で再現できる。エクセルの文書では、ブラウザの画面上でシートをめくることまでできる。しかし、実際にHTMLファイルの中を調べてみると、XMLのタグや独自のCSSを使って書式を保存しており、ネットスケープナビゲーターなどのほかのブラウザでは完全に再現できない。インストールの際にはIE 5.0のインストールが要求されるなど、オフィス2000はIE 5.0の機能と密接に結びついた設計がなされている。

### 登場は半年後

発表によれば、日本でのオフィス2000製品版の出荷時期は99年第2四半期(5~6月)の予定だ。99年第1四半期にも正式版が公開されるIE 5.0の公開後ということになるだろう。

なお、ユーザーによってはもっとも関心を引くかもしれないIMEの機能については、99年2月に開催予定の「Stage 2」で明らかにされるとのことだ。



IE 5.0の「編集」ボタンからアプリケーションを呼び



エクセルでWWW上の文書を編集

Company インターネットの「一時代」が終焉

## AOLがネットスケープを買収

98年11月24日、アメリカオンライン(AOL)によるネットスケープの買収が発表された。96年、当時イリノイ大学の学生だったマーク・アンドリーセン氏らが中心となって設立され、急速に発展を続けてきたネットスケープが買収されることは、インターネットの歴史における「一時代」の終わりと言ってもいいだろう。編集部

98年11月24日(現地時間)、ネットスケープコミュニケーションズが、米国の大手オンラインサービス企業のアメリアオンライン(AOL)に買収されることが正式に発表された。買収額は42億1000万ドルで、株式交換方式によってネットスケープ株1株につきAOL株0.45株を割り当てる。

またAOLはネットスケープの買収と併せてサン・マイクロシステムズとの提携も発表し、今回の買収劇はマイクロソフト包囲網を作り上げる結果となった。

ネットスケープは96年の設立以来、WWWブラウザ「ネットスケープナビゲーター」を開発して急速に規模を拡大して

きたが、マイクロソフトのインターネットエクスプローラ(IE)の無償配布によって、同社を支えてきたブラウザの販売が圧迫されるようになり、結局ネットスケープでもブラウザの無償配布に踏み切ることになった。その後はコマース製品やポータルビジネスを中心に事業を展開してきたが、ここ1年は身売りの噂が絶えなかった。

今回の買収によって、AOLはネットスケープのブラウザ技術を手に入れるほか、これまで「aol.com」を中心に展開してきたポータルビジネスにネットスケープの「Netcenter」を組み入れる。またサン・マイクロシステムズとの提携には、AOLがサ

ンより5億ドルに及び機器の購入を行うことやJavaの技術を使った新たなインターネット端末の開発、次期ブラウザの共同開発といった内容も盛り込まれている。今回の提携でサン・マイクロシステムズは、ネットスケープのソフトウェアの販売やマーケティングに関する権利を得た。

今後、企業の風土や文化が大きく異なるネットスケープをどのように統率していくか、AOLのステーブ・ケイス会長の手腕に注目が集まっている。一方で、ネットスケープのメンバーの今後にも関心が集まっている。ネットスケープのCEOであるジム・パークスデール氏はAOLの役員に就任することがすでに発表されているが、マーク・アンドリーセン副社長らの去就については発表されておらず、業界で話題を呼んでいる。

なお、このニュースは「USA FRONT LINE」で詳しくレポートしている(317ページ参照)。

Product ミリアルネットワークスCEOロブ・グレイサー氏に聞く

## WWWブラウザに近づくリアルプレーヤーG2

ミリアルネットワークスは、リアルシステムG2の正式版を98年11月23日にリリースした。SMILの実装によって単なるストリーミングプレーヤーではなくなったリアルプレーヤーG2(以下G2)について同社CEOロブ・グレイサー氏に話を聞いた。編集部

G2は動画や音声、静止画像、テキストなどさまざまなメディアを同期させる言語、SMILの実装によって既存のWWWブラウザに近いものとなった。こうなるとG2とWWWブラウザの両者の関係がどうなるかが気になる。グレイサー氏は「今後もオーディオとビデオのメディアをプレイバックすることに焦点を当てていく。WWWブラウザのほうへ進出してこうという気はない」としながら、「WWWブラウザはコンテンツを見る時間をユーザーがコントロールできるが、リアルプレーヤーはコンテンツ側で時間をコントロールできる。ある意味でこの関係は新聞とテレビの違いと同じ

だとも言える。このように使われ方が非常に違うので、完全に独立した2つのアプリケーションとして共存していくと考えている」と語った。

さらに「WWWブラウザにリアルプレーヤーが埋め込まれている場合には、コントラストやボリュームの調整などができない」と両者の違いを強調している。

しかし、今後SMILがWWWブラウザに実装されると、G2と同様のコンテンツを見られるようになると予想される。これに対して「WWWブラウザのブックマークはあるコンテンツ全体をブックマークすることしかできないが、G2はあるコンテンツの

1分50秒といったところにブックマークができる。そこが大きな違いだ」としている。

同社ではリアルシステム対応のコンテンツ検索機能を持ったサイト「リアルガイド」を公開している。さらに、G2はチャンネルというコンテンツへのリンクも表示できる。これはEのチャンネルと類似したものだ。今後はこの両者を使って、ユーザーがコンテンツを検索しやすくなるポータルサイトの的なものを提供していく予定だという。

リアルプレーヤーG2の詳細はREADME(302ページ)を参照のこと。

リアルガイド  
URL <http://www.real.com/realguide/>



ミリアルネットワークスCEOロブ・グレイサー氏

**Social** ネットワーク犯罪の取り締まりが法制化へ

## 郵政省が不正アクセス対策法案を公表

98年11月25日に郵政省は不正アクセス対策法制の法案を公表した。同様の法案を警察庁も同日17日に公表しており、今後の国会への提出に向けて両省庁の間で調整が行われる。

編集部

郵政省が公表した素案の内容は、「電気通信設備に対する『不正アクセス』行為の禁止」、「ID・パスワード等の保護」、「利用者の個人情報の適正な取扱い」の3事項。

「電気通信設備に対する『不正アクセス』行為の禁止」では、公衆回線を使ってファイアーウォールやパスワードによる認証によってアクセスが制限されたコンピュータに対する不正アクセスを禁止している。この不正アクセスとは、他人のIDやパスワードを利用したりセキュリティホールを利用したりして、コンピュータを不正に操作することと定義している。

「ID・パスワード等の保護」では、アク

セス制御に使われる他人のIDやパスワードを第三者にみだりに漏らす行為を禁止する。「利用者の個人情報の適正な取扱い」では、電気通信事業者に対して利用者の氏名や住所、ID、パスワードなどの個人情報を郵政大臣が定める指針に従って、適正に取り扱うように義務付けることが盛り込まれている。これは「不正アクセスその他の手段による個人情報の漏えい事件等が社会問題化している」のを取り締まるため、不正アクセスの防止だけでなく、利用者の権利利益の保護も考慮している。

この法案は公衆回線を経由する場合のみ適用され、企業LANなど同一構内の

設備に対しては規制の対象とはならない。この点については、企業などの管理によって防止でき、不正アクセス行為を行った者の追跡も比較的容易であるためとしている。

警察庁案と異なる点は、郵政省案では不正アクセスを取り締まる対象を業務で使われるサーバーだけでなく、利用者のパソコンについても考慮していることである。ほかにも、警察庁案ではサーバーのアクセスログなどの保存を3か月間義務付けているのに対し、郵政省案ではアクセスログなどの保存が電気通信事業法ですでに定められている利用者の「通信の秘密」に属する事項であることと事業者の負担を伴うことから、保存期間に関しては事業者が自主的に定められるなどの違いがある。

両省庁の法案についての意見の募集が98年12月16日まで行われ、今後はこれらの意見を参考に関係省庁と調整を図る予定となっている。

**Service** 関東の私鉄11社が協議を開始

## ケーブルの相互接続で通信事業参入へ

鉄道の線路の脇には、列車の運行情報などをやり取りするためのケーブルが敷設されている。関東の私鉄11社が設置した協議会では、こうした各線のケーブルを相互接続し、通信網として利用する方向で検討が進められている。これにより、新たな広域回線網ができあがることになる。

編集部

東京急行電鉄、小田急電鉄、東武鉄道、帝都高速度交通営団など関東の私鉄11社は、各社が線路脇に敷設している通信網を相互接続することで、2000年をめどに共同で通信事業に参入する方針で先ごろ検討を開始した。現在、11社が発足させた鉄道情報ネットワーク高度利用推進協議会で、技術的な問題や事業内容について検討を進めている。

私鉄各社は、列車の運行情報などをやり取りする光ファイバー網を沿線に敷設しているが、こうした回線には余裕があるため、これを通信事業に割り当てることも可能だという。また、系列会社を通じてす

に沿線にケーブルテレビ網を持つ会社もある。協議会では、こうした既存の回線網を相互接続して利用できるように、通信事業への参入に向けて検討を進めている。新たに回線を敷設することなく、回線の賃貸事業やデータ通信事業、インターネット接続事業などを提供できるようになるため、低価格で高速な通信サービスの提供が期待される。

鉄道会社単体では事業規模や営業地域が限られてしまうが、各社で相互接続することにより、独自の広域回線網を構築できる。協議会は2000年3月までを期限として設置されており、それまでには事業内容や

運営方針などを決定する予定となっている。すでに他の通信事業者などからの問い合わせも多く、まずはこうした通信事業者向けのサービスが事業内容として検討されている。

### 鉄道情報ネットワーク高度利用推進協議会に参加している企業・団体

東京急行電鉄  
小田急電鉄  
京王電鉄  
東武鉄道  
京浜急行電鉄  
京成電鉄  
西武鉄道  
相模鉄道  
帝都高速度交通営団  
東京都交通局  
横浜市交通局

**Product** ソニーが  
パソコンとTAをワイヤレス  
接続するアダプターを発売

ソニーは、TAと離れた場所にパソコンを設置したい場合に面倒な配線がいらないISDN・TA用ワイヤレスアダプター「WNS-230EX」を12月5日に発売した。TAを買い換えずに、そのTAにシリアルで接続し、パソコン側にもう1台同機をつないでワイヤレスでデータ通信を行う。DOS/V用D-SUB9ピンとマッキントッシュ用コネクターを持つ。見通しで約300m、最大32台までのパソコンが接続可能。価格は1台23,800円。

URL <http://www.sony.co.jp/WNS/>



本体寸法はW90×D138×H73 (mm)

**Product** オムロンが  
DSU内蔵のTAを  
2機種発売

オムロンは、高機能で低価格を実現したDSU内蔵型のTA「MT128S-D/R〔シリアルポート用〕」と「MT128S-D/U〔USB用〕」を発売した。本体にバッテリーバックアップ機能を標準搭載したため停電時でも電話が使えるほか、ナンバーディスプレイ対応のアナログポートを2つ装備。S/T点や終端抵抗切り替えスイッチ、極性反転スイッチといった一連の機能を内蔵。価格はともに24,800円。「MT128S-D/U」は1月発売予定。

URL <http://www.omron-ped.com/>



本体寸法はW50×D158×H170 (mm)

**Product** アレクソンが  
コンシューマー向け  
低価格のTAを発売

アレクソンは、コンシューマーと電設業者向けに高い評価を受けている「ALEX-HG128・TD-301」の機能をほぼ継承し、さらに低価格、高機能を実現した「ALEX-TD-203」を発売した。DSU無効化スイッチや128KbpsのマルチリンクPPP (MP)機能を搭載。さらに、非同期57.6Kbps、端末速度230.4Kに対応した。外出先から転送設定ができるリモート機能やナンバーディスプレイにも対応。価格は24,800円。

URL <http://www.alexon.co.jp/product/td203/>



アナログポート2つ、S/T点1つを内蔵

**Product** TDKが  
低消費電力56K  
モデムカードを発売

TDKは、モバイルに適した省電力モデムカード「DF5633EX」を12月3日に発売した。3.3V供給時で最大650mWの低消費電力を実現。PCMCIAタイプ のデータ/FAXモデムカードで、V.90とK56flexの両規格に対応。FAX通信は最大33.6Kbpsで通信できるV.34に対応している(ただしV.34対応ソフトは未発売)。遠隔地のコンピュータをリモートコントロールできる「pcANYWHERE32 for TDKリモート専用版」添付。価格は27,800円。

URL <http://www.tdk.co.jp/tjbd01/>



ウィンドウズ95/98/NT4.0/CE2.0用

**Product** 松下電器産業が  
WebTV Plus専用セット  
トップボックスを発売

松下電器産業は、WebTV Plus専用のセットトップボックス「TU-WE100」を12月1日に発売した。WebTV Plusサービスは、WebTVに新たにテレビ関連機能を付加した新サービス。このWebTV Plus用のチューナーをテレビと電話回線に接続すると、テレビとインターネットを簡単操作で同じ画面上に見ることができ、テレビに連動した番組情報がインターネットで同時に提供される。本体価格は55,000円。

問い合わせ 松下電器産業(株)お客様ご相談窓口 TEL 0120-878-365



専用キーボードは別売(11,000円)

**Product** 大倉電気が機能アップした  
NTTのデジタル専用線  
対応多重化装置を発売

大倉電気は、NTTの「デジタルアクセス64/128」に対応したDSU内蔵型専用線多重化装置「I-TRM1000」を機能アップさせて発売した。これは、電気通信事業者やプロバイダー、第2種通信事業者向けの製品。デジタルアクセス64/128を利用した一般企業のWAN構築に有効で、効率のよいデータ伝送ができる。また、専用線チャンネルごとにDSUを内蔵して省スペース化を実現し、64Kbps専用線では最大24回線が収容できる。

URL <http://www.ohkura.co.jp/>



本体寸法はW425×D380×H99 (mm)

**Product** メルコが  
10/100Mスイッチング  
ハブなどを低価格で発売

メルコは、低価格でネットワークを構築できるハブ製品を3種類同時に発売した。8ポートの10/100Mスイッチングハブ「LSW 10/100-8」は従来の同等製品の価格15万円から20万円を39,800円まで抑えた製品。容易に購入できる価格設定のため、従来のハブのカスケード段数の制限にとらわれない自在なネットワークを構築できる。また、100Mタップ型のハブ「LGH-TX-T4」(4ポート)を9,800円で、「LGH-TX-T8」(8ポート)を15,800円で発売。さらに、8ポートの10Mタップ型ハブ「LGH-T8」(6,800円)も同時に発売し、従来品よりさらに低価格を実現している。タップ型ハブは共に電源を内蔵し、カスケード兼用ポートを1つ提供している。

URL <http://www.melcoinc.co.jp/>

**Product** アクシスコミュニケーションズが10BASE-TX対応  
プリントサーバーを発売

アクシスコミュニケーションズは、10/100Mバイト自動認識のプリントサーバー「AXIS 5400」を11月30日に発売した。新ASICチップ「ETRAX 100」を搭載し、業界最高水準の1MbpsのスループットおよびECPモード対応の高速双方向通信を実現した。ウェブベースで簡単な設定や管理ができる。ウィンドウズ環境におけるピアツーピア印刷ツール「Print Monitor」標準を添付。価格は43,800円。

URL <http://www.axiscom.co.jp/>



本体寸法はW61 x D121 x H24 (mm)

**Product** PCIが  
スケルトンタイプの小型  
プリントサーバーを発売

プランネクスコミュニケーションズは、スケルトンブルー色の小型イーサネットプリントサーバー「Mini」を12月3日に発表した。10BASE-TのRJ-45インターフェイスを1つ持ち、プリンターに直接つなぐセントロニクスパラレルポートの装備で設置が簡単。対応プロトコルはNetBEUIとPX/SPX。ウィンドウズ95/98のみのピアツーピア印刷にも対応している。価格はオープンプライス(市場参考価格9,800円)。

URL <http://www.planex.co.jp/>



本体寸法はW52.5 x D59 x H22 (mm)

**Product** 新潟キヤノテックが  
シリアルポート接続用赤外線  
通信アダプターを発売

新潟キヤノテックは、ノートパソコンやPDAとデスクトップパソコンとの間で赤外線データ通信ができるシリアル接続用アダプター「IrHawk-AirPC」を発売した。シリアル9ピンインターフェイスを持つ、ウィンドウズ95 OSR2以降のOS搭載機と接続できる。IrDA 1.0の赤外線規格をサポートし、ウィンドウズCE 2.0搭載機やザウルス、ソニーのデジカメ(サイバースhoot)などとデータ交換が可能。価格は8,000円。

URL <http://www.niigata-canotec.co.jp/>



外部電源のいらない小型設計

**Product** コダックが  
デジタルカメラ用の  
フォトプリンターを発売

コダックは、デジタルカメラなどの画像を写真画質で印刷する昇華型熱転写方式プリンター「コダックデジタルフォトプリンター-DPP-2-J」を12月5日に発売した。家庭向けのプリンターで、はがきサイズの専用用紙を使い、最高288dpiの解像度で簡単に作成できる。PCカードスロットを搭載し、パソコンを使わずにPCカードに記録されたデジタルカメラの画像を直接プリンターに印刷できる。価格は59,800円。

URL <http://www.kodak.co.jp/>



官製はがき用インクカセットは別売

**Product** ジャストシステムが類似  
情報抽出技術を利用した  
情報検索ソフトを発売

ジャストシステムは、類似情報抽出技術のConceptBaseテクノロジーを活用したパーソナル情報検索ソフト「インターネットブーメラン」を99年2月に発売する。ウェブページの自動巡回機能を持ち、ウェブから取得した情報やメール、ハードディスク内の情報全体を自然文で検索できる。この際に意味や概念の似た情報まで抽出可能。また、要約機能で文字量の多い情報を自動的に要約して、見出しを自動生成できる。

URL <http://www.justsystem.co.jp/>



ウィンドウズ用で価格は8,000円

**Product** 恒陽社が  
HTMLタグ編集ソフトを  
発売

恒陽社は、最新HTMLタグでウェブページを作るユーザー向けHTMLタグエディター「HotDog PRO 4.0J」を発売した。最近主流のGUIベースのホームページ作成ソフトとは異なり、不要なタグを自動生成しない洗練されたHTMLファイルを作成できる。また、タグ情報を検索しながら、それをドラッグアンドドロップで挿入できるHTMLタグマネージャーや文法チェック機能を搭載している。価格は19,800円。

URL <http://www2.koyosha.co.jp/news/>



ウィンドウズ95/98/NT4.0用

**Product** メディアヴィジョンが  
ウェブ画像を作成できる  
グラフィックソフトを発表

メディアヴィジョンは、ペイント、イメージ編集ソフト「Painter」の最新バージョン「Painter 5.5 日本語版」を12月3日に発表した。作成したイメージをウェブ用に高精度で分割して表示速度を上げるイメージスライス機能や、イメージ上で直接テキストを配置して編集できるダイナミックテキスト、JavaScriptコードを自動生成するJavaScriptロールオーバーなどが新規に加わった。価格は未定。

URL <http://www.mvi.co.jp/>



99年1月23日発売予定

**Product** アスキーが  
ホームページ用素材集 &  
プロテクニック集を発売

アスキーは、著作権フリーのホームページ用素材集「Web Art Engine」を12月17日に発売した。GIFやJPEGの形式のほか、マクロメディアのFlashやFireworksで編集できるデータ形式の素材も収録しており、素材をそのまま使うのではなく、自由に編集して使うこともできる。また、FlashやFireworksを使った編集テクニックなども収録されている。ハイブリッドCD-ROMで、価格は8,500円。

URL <http://www.ascii.co.jp/ascii/mmd/>



素材データは540オブジェクト3720点を収録

**Product** 理経が  
MPEGビデオ配信用  
ソフトウェアを発売

理経は、米デジタル・ビットキャスト社開発のビデオ配信ソフトウェア「MPEGストリーミング・ソリューション」の販売を開始した。リアルネットワーク社の「Real System G2」にMPEGのストリーミング機能を追加するプラグイン。28.8 Kbpsから3Mbpsまでのデータ伝送量が調節でき、MPEGデータ以外のテキストや静止画などのデータフォーマットも1つのストリーミングデータとして送ることができる。

URL <http://www.riken.co.jp/NEWS/981202-j.htm>



ライブとオンデマンドの両方に対応

**Product** エー・アイ・ロジックが  
英文メール作成のための  
日英翻訳ツールを発売

エー・アイ・ロジックは、英文メールを簡単に作成できる、日英翻訳支援ツールの最新版「Mailpad ver.2 for Windows」を12月末から店頭販売する。画面の指示に従うだけで、5000種類以上の例文を自動生成できるメールウィザード機能を搭載。さらに、作成した英文をアメリカ式発音で読み上げるText-to-Speechを内蔵している。翻訳エンジンも改良され、高速翻訳を実現している。価格は14,800円。

URL <http://www.ailogic.co.jp/>



簡単ですばやく翻訳できるようになった

**Product** キヤノン販売が  
メールを縮小して段組み  
印刷するソフトを発売

キヤノン販売は、複数のメールを自動的に縮小して段組みにし、整理された状態で印刷できる電子メール印刷ソフトウェア「メールダイジェスト99」を12月4日に発売した。受信したメールを確認のために印刷しようとする場合、メール1件ずつを開いて個別に印刷しなければならない。莫大な量だと枚数も多くなる。こういったときに、複数のメールを整理して、最小限の枚数で印刷できる。価格は1ユーザー5,800円。

URL <http://www.canon-sales.co.jp/>



アウトLOOKやEUDORA PROなどに対応

**Product** ネットワークアソシエイツが  
コンシューマー向け  
ウイルス対策ソフトを発売

ネットワークアソシエイツは、ウイルス対策ソフト「VirusScan」の最新バージョンで、コンシューマー向け製品「VirusScan Ver.4.0 for Windows 95/98」日本語版を発売した。新バージョンでは誰もが簡単にウイルスソフトを使えるように直感的なインターフェイスにして大幅に変更した。また、ウイルス検出駆除機能にEmailスキャン、ダウンロードスキャン、インターネットフィルターなどを追加して、操作性や機能性を向上させた。「VirusScanセントラル」により、1つの集中管理画面でウィザード機能を利用できるようになり、新しいウイルス情報や検査のスケジュールなどの設定が簡単になった。ウィンドウズ95/98用で価格は6,500円。

URL <http://www.mcafee.com/japan/>

**Product** ブレーンがダイアルアップ  
接続でVPNを  
実現できるソフトを発売

ブレーンは、企業や学校のLAN環境で、複数のパソコンから同時にインターネット接続できるソフトウェア「PROXY 2000」を1月26日に発売する。ウィンドウズ95/98/NT搭載のパソコンをプロキシサーバーとして運用できる。新バージョンで、遠隔地をつなぐLAN間に導入した「PROXY 2000」によって既存のモデムやTAでダイアルアップ接続およびOCNエコノミーなどの専用線接続でインターネットVPNを実現。

URL <http://www.brain-tokyo.co.jp/products/>



スタンダード版（5ユーザー）は12,800円

**Product** アップルコンピュータが  
ネットワークアプリケーション  
開発環境ソフトを発売

アップルコンピュータは、インターネットやイントラネット上で高度なサービスを提供するネットワークアプリケーションの開発・運用ツール「WebObjects 4」を発売した。ネットワークアプリケーションサーバーを構築するための開発・運用環境を用意したソフトウェアパッケージで、今まで多くの先進的なエレクトロニックコマースに採用されている。他社の開発環境にはない優れたフレームワークを標準で装備しているため、柔軟なネットワークアプリケーションの開発ができる。今回のバージョンからJavaアプレットに対応し、高度なインターフェイスを備えたアプリケーションの開発ができ、パフォーマンスが大幅に向上した。価格は開発者版が198,000円から。

URL <http://www.apple.co.jp/>

**Product** ソニーがパソコン上で  
地図の閲覧やルート検索の  
できるソフトを発売

ソニーは、ウィンドウズ95/98搭載のパソコン上で地図の閲覧やルート検索、ドライブ前のルート確認などができるデジタルマップナビゲーターの最新版「Navin' You Ver. 3.0」を発売した。上空から眺めているような3次元フライトビュー機能や進行方向を常に上向きに表示するヘディングアップ機能、携帯電話などを利用して位置情報を交換するパーティー通信機能（一度に4人まで）などを新たに追加。価格は18,800円。

URL <http://vaio.sony.co.jp/software/>



GPSアンテナとPCカードが付いたモバイルバックは59,800円

**Product** サイボウズが  
ウェブサーバーのログ  
解析ツールを発売

サイボウズは、ウェブサーバーのログ解析ツール「サイボウズホームページ視聴率」を12月14日に発売した。ウェブサーバーのログをページ別やドメイン別など、さまざまな切り口で即座に分析するウェブアプリケーション。タグの切り替えによるわかりやすいオビレーションを基本にしているため簡単に扱えるほか、ウェブサーバーマシンにインストールするだけで利用できる。価格は1サーバーあたり99,800円。

URL <http://cybozu.co.jp/cbadmin/httplog/>



WWWブラウザによる設定と開発

**Product** JR東海エージェンシーが  
新幹線や特急、空路の  
検索型時刻表を発売

ジェイアール東海エージェンシーは、弘済出版社が監修する時刻情報の提供のもと、検索型時刻表「ビジネスカスタム時刻表」を発売した。ホームページからのダウンロードによるオンラインでの販売になる。乗車日、乗車駅、降車駅を指定するだけで、カスタマイズされたユーザー専用の時刻表が作成される。新幹線や特急、空路などの複数の経路が指定され、料金も表示。空路は同時刻でも全航空会社が表示される。

URL <http://www.kyodoplaza.gr.jp/custom/>



マウスで指定の簡単操作。価格は2,980円

**Product** JR東日本企画が  
交通機関の最適ルートを  
検索するソフトを発売

ジェイアール東日本企画は、交通機関の出発地と目的地を入力して目的地までの最適ルートを検索するナビゲーションソフト「JRトラベルナビゲータ」を発売した。到着時刻を設定すれば、時刻を逆算して最適ルートを割り出して出発時刻も表示。元になる時刻表のデータはウェブから3か月間ダウンロード可能。さらにPHS位置情報サービスと連携して現在位置を地図上に表示し、周辺情報を検索できる。価格は3,800円。

URL <http://www.jnavi.ne.jp/>



ウィンドウズ95/98/NT/CE用

**Service** エキサイトが  
ウェブサイトのデザインを  
一新してコンテンツを拡充

エキサイトは、11月30日にウェブサイトのデザインを一新し、パーソナライズ機能やディレクトリー検索の追加、占いなどのコンテンツの充実を図った。「My Excite」でのみできたカスタマイズ機能をトップページでも可能にしたほか、ブラウザ内のバックグラウンド画面に好きな写真や絵(jpgかgif形式)を簡単に貼り付けられる。さらに、検索中のワードをランダム表示する「サーチストリーム」サービスも開始した。

URL <http://www.excite.co.jp/>



カスタマイズ可能になったトップページ

**Service** バリュークリックジャパンが  
クリック数を保証した  
電子メール広告を開始

完全クリック数保証型のバナー広告を運営するバリュークリックジャパンは、メール広告でも完全クリック数保証型サービスを開始した。サービス名は「MailClick」。広告の露出回数にかかわらず、広告を見てそのサイトを訪れたユーザー数に応じて広告料金を課金する「クリック数保証」をそのままメールマガジン中のテキスト広告に採用する。メールマガジンを使えば、一度に購読者全員に届く瞬時性と広範性ウェブとの連携による高いインタラクティブ性などのメリットがある。クリック数は広告主のホームページに実際にアクセスした分しかカウントされず、広告料は1クリックあたり150円からとなっている。当初は発行部数の多い15種類のメールマガジンを媒体とする。

URL <http://www.valueclick.ne.jp/>

**Service** 米Virtualplus社が  
統合メッセージサービスを  
日本で開始すると発表

米Virtualplus社は、メールや音声などを統合したメッセージサービス「ユニファイド・メッセージング・サービス」を日本市場で開始すると発表した。すでにヨーロッパやアメリカの大手プロバイダーと契約し、次の展開としてアジア市場への進出を考えており日本の大手プロバイダーと交渉に入っているという。このシステムを使うと、電子メールのほかにFAXやボイスメール、携帯電話、ポケベルなどで、メッセージの送受信が自由自在にできる。この場合、メッセージの形式を希望に合わせて変換でき、FAXを電子メールとして受け取ったり、自分のパソコンでボイスメールのメッセージを聞いたりできる。サービスの利用は24時間可能。

URL <http://www.virtualhq.net/>

**Service** 横浜地裁競売物件の  
事件記録閲覧サービスが  
開始

慶応義塾大学環境情報学部2年生5人によるベンチャー企業のエスティコーポレーションは、横浜地裁で取り扱う競売物件の事件記録をウェブサイトで閲覧できるサービスの試験を開始した。物件明細書、評価書、現況調査報告書のほか、謄本や質貸借契約書など地裁閲覧室で閲覧できる情報の9割以上をデジタルカメラを使って掲載、24時間閲覧できる。1月の有料化(予定)に合わせて条件検索機能を付加するという。

URL <http://www.esty.co.jp/keibai/>



横浜地裁競売物件情報サービスのページ

**Service** モバイル専用コンテンツ  
「おでかけナビ」で複数の  
レジャー施設情報を配信

博報堂デジタルソリューションセンターとベルシステム24は、共同でカーナビやPDA、携帯電話などのモバイルメディア専用コンテンツ「おでかけナビ」を開発し、一部の配信を開始した。配信情報は、「映画チャンネル」、「ゲレンデチャンネル」、「テーマパークチャンネル」の3ジャンル。「映画チャンネル」では、関東・中部・関西の主要映画館約350の劇場における各上映時間の混雑度をほぼリアルタイムに配信するほか、最新の封切り映画情報や割引料金の一覧などを表示する。利用には「おでかけナビ」提供のプロバイダーに加入するか、配信契約をしている電話会社の携帯端末を持つ必要がある。料金は、月額情報料と通話料といった形で支払うことになる。

URL <http://odenavi.port.ne.jp/>

Service

### スポーツニッポンが 電子メールでのニュース 配信サービスを開始

スポーツニッポンは、新聞より一足先にニュースを電子メールで配信するサービスを99年1月1日より開始する。これにあたり、現在ホームページ上で購読の申し込みを受け付けている(当面は無料)、各種スポーツの結果や芸能情報、ギャンブル情報を提供する。また、メールの配信時間を午前4時とし、新聞では時間的に提供できなかった欧米のサッカーやゴルフの試合結果を速報する。

URL <http://www.sponichi.co.jp/>



スポニチメール購読申し込みトップ画面

Service

### 電通総研が 情報メディア業界関連の ランキングを発表

電通総研は、97年1年間と98年1月から9月の2期にわたり、新聞(全国4紙)で話題となった情報メディア業界関連の用語や名称を分類して、部門別にランキング付けした「情報メディア」ヒット「ランキング」を発表した。評価は部門別の星取り方式。メディア産業のインフラやハード機器、ソフトにかかわる企業で構成される「メディアビジネス部門」ではNTTが2年連続首位で、NHK、NECと続く。帝国データバンクが1位にランクインし、躍進が目立つ。「情報メディア商品・サービス部門」では、インターネット、携帯電話、電子メール、PHSの上位4つは97年から変動なし。98年にサービスが本格化したCSが8位から5位に浮上し、ウィンドウズ98が7位と健闘した。

問い合わせ (株)電通総研 情報メディア白書事務局 TEL 03-3575-8210

Service

### 日販商事が アジア最大の専門書出版 モールの運営を開始

出版業界最大手の取次、日本出版販売の関連会社である日販商事は、文化財デジタル研究所、ユーアイシー、ハル工房と提携し、ウェブ上でバーチャルショッピングモール「Digitalium」(デジタルリウム)を12月15日より開始した。一般書店では品揃えが少なく入手にくい文化・歴史・自然などの専門書籍を提供する。商品はジャンル、出版社名、タイトル名、著者名などのキーワードで検索できる。サービス開始時は、商品数約10000点を準備、随時、新刊案内やお買い得品のコーナーを設けて商品を充実していく。また、NTTが米オープンマーケット社の技術をもとに運用する電子決済実験サービス「Livuy」と連動して高度なセキュリティーで運営する。

URL <http://digitalium.dica.co.jp/>

Service

### ホリプロが ビットキャストを利用した 新人アイドルPRを展開

ホリプロは、所属タレントのプロモーションにTBSビットキャスト放送「データパレード」を利用して12月15日より放送を開始した。デジタルメディアを積極的に利用するホリプロは、さらに新しいメディアとして、地上波ビットキャスト放送に着目。テレビ放送で使われない電波の隙間を利用して不特定多数の視聴者に、人気アイドルHIPの5人(新山千春、深田恭子、酒井彩名、大森玲子、優香)の情報を配信する。受信者はインターネットを使って番組のサーバーやホームページにアクセスすると「るす電ボイス」として5人の声による日記帳やファンクラブ情報などのオリジナルコンテンツが提供される。HIP情報はビットキャスト番組「Digital X Packet」で毎月15日に放送。

URL <http://www.bitmedia.ne.jp/digitalX/>

Technology

### NTTドコモがPIAFS 64Kbpsデータ通信の 試験サービスを開始

NTT移動通信網は、PIAFSを利用した64Kbpsデータ通信の試験サービスを12月1日から99年3月31日まで行う。64Kbpsデータ通信は、現在商用サービスとして提供されている32Kbpsデータ通信(PIAFS)のチャンネルを2回線同時に使用することで実現できる。試験サービスは、東京都の7区と横浜市2区、川崎市2区のエリアで提供され、モニターはホームページで5000人を募った。試験の目的は64Kbpsデータ通信の有効性やニーズの検証や、利用頻度、利用時間、利用エリアを把握して、設備設置条件などを検証すること。端末は新たに発売された64Kbpsデータ通信対応PHS端末、データカード一体型のパルディオ611Sが使用される。

URL <http://docomo-web.nttdocomo.co.jp/new/contents/98/whatnew76.html>

Technology

### NECが 次世代プロトコルIPv6と IPv4の変換ソフトを開発

日本電気は、現在使用しているパソコンやネットワークのIPv4と次世代インターネット対応IPv6のプロトコルでの通信を容易に実現するIPv6/IPv4変換ソフトウェア「IPv6/IPv4 Translator」を開発した。NECが開発し、IETF(Internet Engineering Task Force)で標準化されたセキュリティーソフトのSOCKS5をベースにしているため、OSやハードウェア、アプリケーションに依存しない。また、通常使われているソフトウェアによる通信のすべてに対応し、通信環境も変更する必要がないなど、IPv4のそれぞれの機能を損なわずにIPv6へ移行できる。これによりNECはIPv6の実用化に向けた研究開発活動をリードしていく意気込みだ。

URL <http://www.nec.co.jp/japanese/today/newsrel/9811/2602.html>

### Technology 日本テレコムが IPベースの次世代通信 ネットワークの開発を発表

日本テレコムは、2000年を目指し、企業や家庭での現行の音声中心の通信サービスに取って代わるIPベースの次世代通信ネットワーク「PRISM」の開発を行うと12月3日に発表した。99年4月からサービスに向けた本試験を開始し、2000年4月の商用サービス化を目指す。さらに増加すると思われる膨大な通信量に対応するため、シスコシステムズと共同で、通信容量が大きく、あらゆる需要を受け入れられる通信網を構築する。PRISMにより、音声電話サービスもVoice over IP形式で提供するほか、インターネット接続、VPN、IPマルチキャストといった各種サービスも提供する。現在サービス中のODNも同様にPRISMでの提供になるという。

URL <http://www.japan-telecom.co.jp/>

### Campaign 日本テレコムが ODN入会と友達紹介の キャンペーンを実施

日本テレコムは、ODNに入会すると抽選で賞品が当たる「Happy! インターネットキャンペーン」を99年1月31日まで実施する。期間中にODNに入会した人は、ホームページ上からの応募で、デジタルカメラ(富士フィルムの「CLIP IT 50」)5名ほか、合計で1,055名に賞品が当たる。また、3月31日までに友達をODNに紹介すると、毎月100名にオリジナル図書カードが当たる「おともだちご紹介キャンペーン」も実施している。

URL <http://www.odn.ne.jp/>



ODNのホームページ

### Company ジャパン・サーチ・エンジン とFieldGateが合併、 新会社を設立

サーチエンジン「DRAGON」やホームページ登録代行サービスを提供するジャパン・サーチ・エンジンと、「Internet NOW!」などの4マガジンで合計10万部の発行部数を誇るオンライン出版社FieldGateは、12月に合併して「ドラゴンフィールド株式会社」を設立する。代表取締役にはジャパン・サーチ・エンジン代表取締役の甲斐真樹氏とFieldGate代表の門田威一郎氏が連名で就任し、総合オンラインコンテンツ提供事業として独自コンテンツを創造していく。合併後の新サービスはFieldGate発行の4マガジンに、新たに占いや友達紹介、書籍、映画などの情報サービスを追加して、よりカスタマイズされた情報をメールで提供する「DragonField会員サービス」を開始する。

URL <http://www.dragon.co.jp/>

### Event WIDEプロジェクトが インターネット災害訓練を 1月に実施

WIDEプロジェクトは、大規模災害を想定したインターネット上の災害訓練を99年1月17日に実施する。WIDEプロジェクトでは災害時におけるインターネットの活用と災害にも耐えるシステムの技術的な検討を行っており、今回の訓練もこの活動の一環。96年からインターネット災害訓練を実施し、以後毎年開催され、今回は4回目。参加者はこれまでで1万人を数える。今回は、前回同様「生存者情報データベースへの登録および検索訓練」を目的に、被災者の生存情報に関するデータベースを構築して、音声ガイダンスを利用した電話やFAX、ウェブなどのインターネット経路によって登録や検索ができるようになっている。

URL <http://www.wide.ad.jp/>

URL <http://www.iaa.wide.ad.jp/>

### Report 日経BP、NEC主催 NEC Express World '98 東京ビッグサイトで開催

日経BP社とNECが主催する「NEC Express World '98」が12月2日から4日まで東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。「Touch The Web Computing」をテーマに、NECのExpressサーバーを利用したウェブソリューションが集結、多数のパートナー企業が出展した。

会場はExpress5800シリーズのサーバー群を紹介した「NEC Expressブース」や業種ごとにウェブソリューションを展示する「NECシステムソリューションブース」のほか、グループウェアやモバイルなどを使ったオフィス業務用の支援ツールを紹介する「オフィスワーク支援ゾーン」、LAN/WAN関連ハードウェアやセキュリティー製品を提案する「ネットワーク・システム管理ゾーン」などが設置された。

会期中は天候に恵まれない場面もあったが、来場者数は4万4055人。派手さはないものの、企業のネットワーク管理者などが各ブースで熱心に耳を傾ける様子うかがえた。製品群もすでに発表されていたものが多いが、参考出展として、グループウェアとモバイル機器を組み合わせたアプリケーションやオフィス内でのLANと音声の統合などを紹介する企業も見受けられた。



「NEC Express World '98」会場内

Event イベントカレンダー(1999年1月~4月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出  
かけの際は、問い合わせ先へ確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
2月3日	2月5日	NET & COM '99 URL <a href="http://www2.nikkeibp.co.jp/event/netcom/">http://www2.nikkeibp.co.jp/event/netcom/</a>	インターネットテクノロジーによる企業情報システムとネットワークについてのフォーラムや展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社 関 日経BP社 エキスパート事務局 Tel. 03-5210-8287
2月3日	2月5日	PAGE 99 URL <a href="http://www.jagat.or.jp/JAGAT/PAGE/">http://www.jagat.or.jp/JAGAT/PAGE/</a>	デジタルブリッジングの総合技術展。グラフィックコミュニケーションにかかわるビジネスの最新動向やソリューションを探るカンファレンス、セミナー、展示会。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1-1	主 社 日本印刷技術協会 関 PAGE 99事務局 Tel. 03-3384-3112 Fax 03-3384-3116
2月4日	2月5日	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム'99 URL <a href="http://www.ipsj.or.jp/">http://www.ipsj.or.jp/</a>	インターネットやLANの運用管理、ネットワークの高速度・高性能化、次世代通信、分散処理システム構築などのあらゆる技術に関するシンポジウム。	大阪市立大学 学術情報総合センター 大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138	主 社 情報処理学会 分散システム/インターネット運用技術研究会 関 社 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03-5484-3535 Fax 03-5484-3534
2月18日	2月20日	MACWORLD Expo/Tokyo '99 URL <a href="http://www.idgexpo.com/">http://www.idgexpo.com/</a>	マッキントッシュ関連の総合展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDG ワールドエキスポジャパン、日本工業新聞社、ニッポン放送、産経新聞社、フジテレビジョン、毎日コミュニケーションズ 関 IDG ワールドエキスポジャパン Tel. 03-5276-3751 Fax 03-5276-3752
3月2日	3月5日	'99 SECURITY SHOW URL <a href="http://www.nikkei.co.jp/events/SS/">http://www.nikkei.co.jp/events/SS/</a>	監視用映像機器やシステム、入退室管理、個人認証、ネットワークセキュリティに関する展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社 事務局 総合事業部 Tel. 03-5255-2847
3月4日	3月5日	ネットワーク・コラボレーション'99 URL <a href="http://www.sbforums.co.jp/events/collaboration/">http://www.sbforums.co.jp/events/collaboration/</a>	イントラネット、グループウェアなど企業内や企業間のコラボレーション環境を展示。ワークショップやカンファレンスも開催。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 ネットワークコラボレーション実行委員会、日本経済新聞社 関 日本経済新聞社 事務局 総合事業部 Tel. 03-5255-2847
3月9日	3月12日	ARCHITECTURE TOKYO '99 URL <a href="http://www.jma.or.jp/CONVENTION/ARCHI99/">http://www.jma.or.jp/CONVENTION/ARCHI99/</a>	快適環境創造のための建築・設備の技術総合展。マルチメディア時代の使いやすい情報通信ネットワークのシステムやサービスも紹介。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 (社)日本能率協会 関 (社)日本能率協会 産業振興本部内 ARCHITECTURE TOKYO 事務局 Tel. 03-3434-1243 Fax. 03-3434-8076
4月7日	4月10日	COMDEX/Japan '99 URL <a href="http://www.sbforums.co.jp/comdex99/">http://www.sbforums.co.jp/comdex99/</a>	コンピュータの総合展示会とカンファレンス。SEYBOLD Seminars Tokyo/Publishing '99同時開催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433 Fax 03-5641-4617
4月7日	4月10日	OBJECT WORLD Japan '99 URL <a href="http://www.sbforums.co.jp/">http://www.sbforums.co.jp/</a>	オブジェクト技術と分散コンピューティングに関する展示会。COMDEX/Japan '99と併催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433 Fax 03-5641-4617
4月22日	4月25日	東京国際ブックフェア '99 URL <a href="http://www.jpba.or.jp/tibf/index.htm">http://www.jpba.or.jp/tibf/index.htm</a>	世界各国の出版社や出版関連企業による国際図書展示会。電子書籍やマルチメディア媒体に関する展示。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 東京国際ブックフェア実行委員会 関 東京国際ブックフェア事務局 (リードエグジジションジャパン内) Tel. 03-3349-8502 Fax. 03-3345-7929

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
1月4日	1月8日	MACWORLD Expo 1999 URL <a href="http://www.macworldexpo.com/mw99/">http://www.macworldexpo.com/mw99/</a>	マッキントッシュ関連の総合展示会。	Moscone Convention Center San Francisco, CA, USA	関 IDG Expo Management Company Tel. +1-781-551-9800 Fax. +1-781-440-0300
1月7日	1月10日	1999 International Consumer Electronics Showcase(CES) URL <a href="http://www.cesweb.org/newsite/">http://www.cesweb.org/newsite/</a>	電化製品や情報家電など、電気機器に関する総合展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, NV, USA	関 CES General Info Tel. +1-703-907-7605 Fax. +1-703-907-7602
1月17日	1月21日	The 1999 RSA Data Security Conference & Expo URL <a href="http://www.rsa.com/conf99/home.html">http://www.rsa.com/conf99/home.html</a>	暗号、セキュリティ技術に関する展示会とカンファレンス。	McEnery Convention Center San Jose, CA, USA	関 RSA Data Security Tel. +1-650-295-7600 Fax. +1-650-295-7700
2月2日	2月5日	Internet World Canada '99 URL <a href="http://events.internet.com/canada99/">http://events.internet.com/canada99/</a>	インターネットの総合展示会。	Metro Toronto Convention Centre Toronto, Canada	関 Mecklermedia Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-454-5840
2月5日	2月8日	THE HOME AUTOMATION SHOW & CONFERENCE URL <a href="http://homeautomation.reedexpo.com/">http://homeautomation.reedexpo.com/</a>	家庭内ネットワークや情報家電に関する展示会とカンファレンス。	Orange County Convention Center Orlando, FL, USA	関 Reed Exhibition Companies Tel. +1-203-840-5658
3月1日	3月3日	Consumer Online Forum URL <a href="http://www.jup.com/events/forums/cof/">http://www.jup.com/events/forums/cof/</a>	消費者向けのインターネットビジネスに関するセミナー。	The Sheraton Hotel & Towers New York, NY, USA	関 Jupiter Communications Tel. +1-212-780-6060 Fax. +1-212-780-6075
3月1日	3月3日	Marketspace '99 URL <a href="http://www.xplor.org/conf/marketspace99.html">http://www.xplor.org/conf/marketspace99.html</a>	エレクトロニックコマース関連の展示会とセミナー、カンファレンス。	Atlanta Hilton & Towers Atlanta, GE, USA	関 Xplor International Tel. +1-800-669-7567 Fax. +1-310-375-4240



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)